

主体性の獲得支援

中村 香

現代社会を表すキーワードのひとつに VUCA がある。VUCA とは、Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性) の頭字語である。予測困難で、「正解」がない社会であることを表している。先が見え難い社会では学ぶ意味や楽しさを捉える前に不安感が煽られ、学び続けなければならない焦りや取り残され感を抱く人もいるのではないだろうか。

筆者は社会人になってから学び直した。働いてみると社会のさまざまなことに疑問を覚え、大学で学び直したくなったのである。当初は働きながら気軽に学ぶつもりであったが、学べば学ぶほど知りたいことが増えていった。疑問が次々と解明されることが面白かったのだ。また、留学をしてみると「井の中の蛙」とは自分のことだと気づき、大海を知りたいと思いながら学び続けていたら、研究者になっていた。

しかし、ジェンダー・ギャップ指数が低迷する日本の社会構造では、女性が自らの学びのために時間やお金を割くのは容易ではない。筆者が学び続けられたのは、要所要所でエンパワーしてくれる人に出会っていたからだ。例えば、学び直そうと思ったときは、たまたま訪れた知人宅にチェロが置いてあり、「50の手習いで始めたの」と笑顔で話す姿が素敵に思えたのである。20代であった筆者にとり、50歳を過ぎても新たなことに挑戦する姿には憧れとともに、軽く背中を押される思いがした。

人生は一度きり。かけがえのない人生をどう生きたいのかという想いを大切にすると、力が湧いてくるのではないだろうか。また、社会構造の影響から女性は他者や制度に「自発的服従」をし易いので、女性の自己実現にはエンパワーメントによる主体性の獲得支援が不可欠である。想いや力がネガティブにならないように、一人ひとりの多様な生き方が尊重されること、また、その人らしい生き方が次世代の背中を軽く押すつながりが拡がることを願っている。



PROFILE

なかむらかおり：玉川大学教育学部教授、川崎市教育委員、本財団評議員。博士（学術）。専門は、生涯学習論、組織学習論、成人教育学。著書に、『生涯学習支援のデザイン』（共編著、玉川大学出版部、2019）、『社会教育経営のフロンティア』（共編著、玉川大学出版部、2019）、『生涯学習のイノベーション』（共編著、玉川大学出版部、2013）、『学習する組織とは何か』（単著、鳳書房、2009）など。